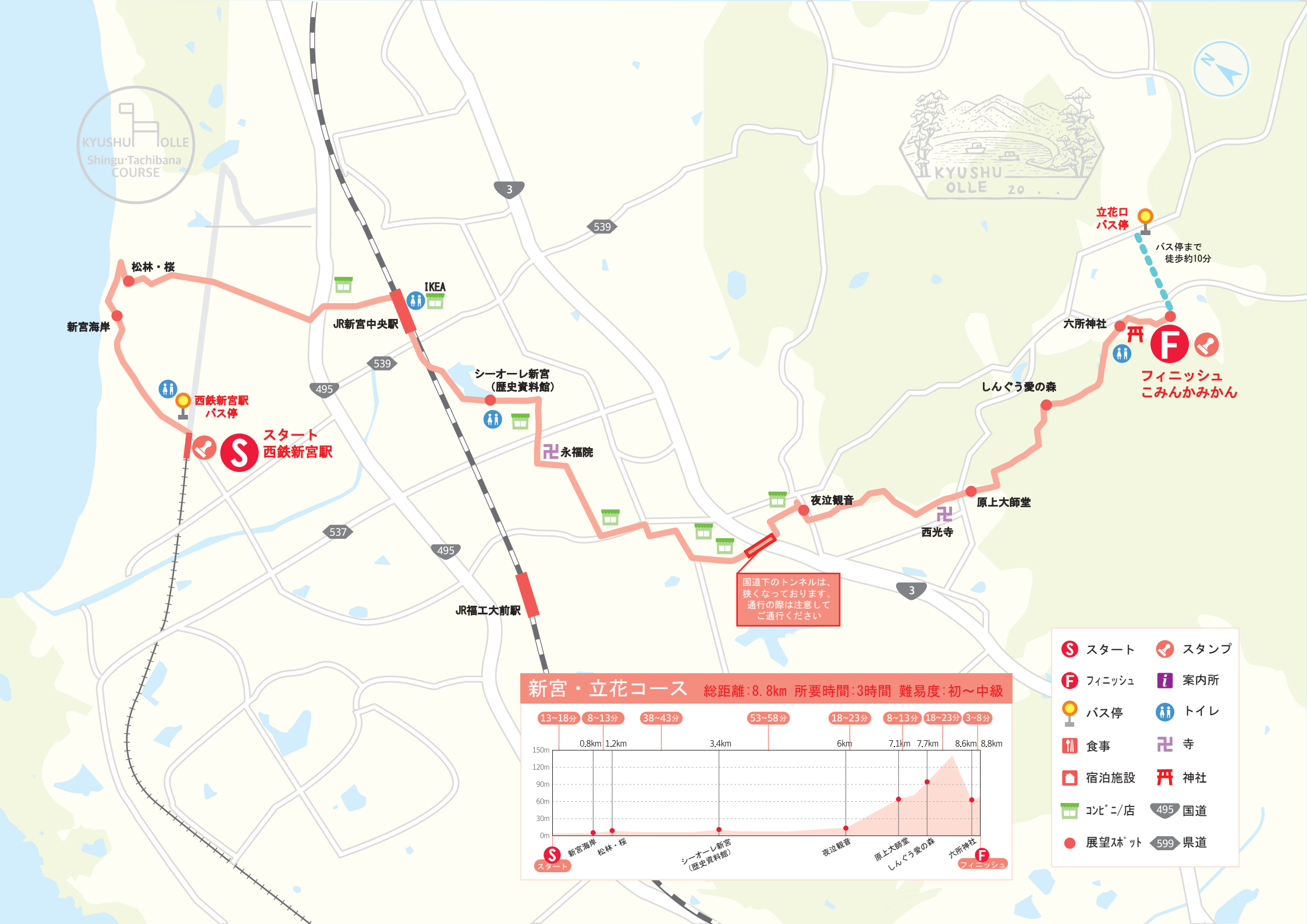
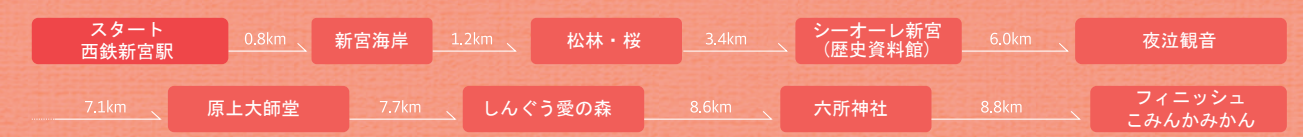




九州オルレ 新宮・立花コース

九州の玄関口・福岡市内（博多駅や天神駅）から電車で約40分、素朴な無人駅「西鉄新宮駅」から、新宮・立花コースがスタートします。同じく「新宮・相島コース」もここから始まり、フェリー乗り場へ向かいます。福岡に宿泊して、日帰りで気軽にオルレを楽しめる距離にあります。大都市・福岡から少し離れるだけで出会えるのは、美しい海と砂浜、そして波の音を忘れるほどに続く

総距離: 8.8km 所要時間: 3時間 難易度: 初～中級



立花コースのスポット

新宮海岸と松林

ひときわ白く美しい砂浜のすぐそばに、青々とした松林が約2kmにわたって続きます。これは17世紀、福岡藩が海風から農作物を守るために植えたのが始まりで、今では福岡県内でも屈指の美しい景観として知られています。ゆるやかな弧を描く海岸線は「パラソルの縁」とも呼ばれ、周辺には人気の海産物加工直売所などもあります。

六所神社

戦国時代の武将・立花道雪（たちばな どうせつ）が戦勝祈願をしたと伝えられる神社で、現在では恋愛成就や合格祈願のご利益がある神社としても知られています。

しんぐう愛の森展望所

立花山の麓を進む途中に、突然目の前に開ける絶景の展望スポット。新宮町の町並みや玄界灘、さらには沖に浮かぶ「相島（あいのしま）」まで一望できます

2kmの松林。静かで整った住宅街を抜けると、新宮で最も親しまれている立花山（たちばなやま）へと続くオルレの道が現れます。巨大な竹林を歩きながら、やがて立花山の周遊ルートへ入り、クスノキや杉など空を覆うような大木に囲まれたアップダウンの山道を進むと、新宮で最も眺めが良いとされる「しんぐう愛の森」に到着します。ここでは遠く相島（あいのしま）まで見渡すことができ、ひと息つくのにぴったりの場所です。その後は、ゆるやかな下り道を抜けていくと、いつのまにかゴール地点の「古民家」に到着します。

シーオーレ新宮（歴史資料館）

新宮町では弥生時代（紀元前～紀元初期）の貴重な古墳が多く見つかっています。「やうす遺跡」や、福岡県で4例目の発見となった「琴柱石（ことじいし）」が出土した「ひとまる古墳」などが、資料館に展示されています。戦国時代の立花城、国指定重要文化財など、古代～中世の九州の歴史を学べるスポットです。

こみんかみかん

通常の家の2倍以上の高さを持つ天井には、7層にも重なる大きな梁（はり）が架かり、この家のスケールの大きさを感じさせます。昔、使われていた鏡台や布団ダンスなどが残されており、庭園を眺めながらお茶を飲むひとときも格別です。オルレ参加者向けの軽食や九州オルレや地域の特産品等も販売しております。

九州オルレ 福岡 新宮・立花 コース

규슈올레 신구·다치바나 코스

九州オルレ Kyushu Olle Trail

九州オルレについてオルレとは「オルレ」は韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」という意味です。済州ではなじみ深い言葉ですが、トレッキングコースとして名付けられてからは全国的に有名になりました。オルレの魅力は海岸線や山などの自然、民家の路地などを身近に感じ、自分なりにゆっくり楽しみながら歩くところにあります。九州オルレは「済州オルレ」の姉妹版。九州オルレは、雄大な自然と多くの温泉を有する九州の文化と歴史を五感で味わいながら歩くトレイルです。季節ごとのはっきりとした美しさを感じながら、ゆっくりと歩く道—それが九州オルレの魅力です。



①佐賀県 (2012)	武雄コース	12.1km	難易度	中
②熊本県 (2012)	天草・維和島コース	12.3km	難易度	中～上級
③大分県 (2012)	奥豊後コース	12.0km	難易度	中級
④熊本県 (2013)	天草・松島コース	11.1km	難易度	中級
⑤佐賀県 (2014)	嬉野コース	12.5km	難易度	中～上級
⑥福岡県 (2014)	宗像・大島コース	11.4km	難易度	中～上級
⑦福岡県 (2014)	八女コース	11.0km	難易度	初～中級
⑧福岡県 (2015)	久留米・高良山コース	8.6km	難易度	中～上級
⑨長崎県 (2015)	南島原コース	10.5km	難易度	中級
⑩福岡県 (2017)	みやま・清水山コース	11.5km	難易度	中～上級
⑪鹿児島県 (2017)	出水コース	13.8km	難易度	中～上級
⑫福岡県 (2018)	筑豊・香春コース	11.8km	難易度	中級
⑬大分県 (2018)	さいき・大入島コース	10.5km	難易度	中～上級
⑭福岡県 (2019)	新宮・立花コース	8.8km	難易度	初～中級
⑮長崎県 (2020)	島原コース	10.5km	難易度	中級
⑯宮崎県 (2020)	宮崎・小丸川コース	14.3km	難易度	中級
⑰長崎県 (2023)	松浦・福島コース	10.0km	難易度	中～上級
⑱福岡県 (2025)	新宮・相島コース	8.0km	難易度	初～中級

九州オルレを詳しく知りたい方は、「九州オルレ」と検索してください。
九州オルレ公式ホームページ <https://kyushuolle.welcomekyushu.jp/>

コースは事情により少しずつ変更されることがありますので、
九州オルレ公式ホームページでご確認ください。

※九州オルレは自由旅行です。
道中でも、道を外れた場所でも、ご自身の安全には十分ご注意ください。
万が一の事故に備え、旅行保険には必ずご加入ください。

九州オルレの道標 Kyushu Olle Trail Signs

リボンの目印が見えなかったり、道を間違えたかもしれないと思ったときは、最後に目印を確認した地点まで戻って、ゆっくりと周囲を確認してみてください。特に分かれ道では、まず道標を探す習慣をつけると安心です。

※荒天や台風などにより道標が外れている場合もありますので、道順に不安がある場合は無理に進まずにルートを引き返すようにしてください。

九州オルレを象徴する色は、神社の鳥居を連想させる「朱色」であり、道標の矢印やリボンなどに使用されています。

▶▶カンセからスタート
オルレは道に沿っていくつかの目印があります。スタート地点のカンセ（馬のオブジェ）の頭の方向に進みましょう。カンセの鞍（くら）にそれぞれ「S (Start)」と「F (Finish)」の表示があります。

▶▶リボンに沿って
見失わない程度の間隔で木の枝などに結んだリボンが見えてきます。リボンを探して進みましょう。

▶▶分岐点には木製の矢印
方向が変わるときなどに、木製の矢印や石などにペイントされた矢印があり。青が正方向、赤は逆方向です。

オルレのマナー

- ・民家付近を通るときは、勝手に敷地内に入らない。
- ・住民、民家の写真を撮るときは、必ず同意をもらう。
- ・ゴミは必ず持ち帰る。
- ・道沿いの農作物を勝手に採らない。
- ・道端に咲いている花や木の枝を採らない。
- ・次に訪れる人のために、目印のリボンは持ち帰らない。
- ・道案内の看板には触らない。
- ・風景を楽しみながら、ゆっくりと歩く。
- ・車道を歩くときは、車に気をつけて歩く。
- ・コースから外れた急傾斜地等での危険な行動は控える。
- ・途中出会う旅行者や地元住民の方々と笑顔で挨拶を交わす。

新宮町のオススメ

◆特産品◆

いちご（あまおう）



あまおういちごは、粒がとても大きくて丸く、鮮やかな赤色をしており、酸味と甘味のバランスがよく、口の中に広がるいちごの香りが爽やかです。

甘酸っぱいさまざまな柑橘類



以前、天皇にも献上されたという様々な柑橘類が、立花山を印象的な風景に彩っています。冬の時期にはコース上でも見ることができます。

海の幸の楽園



海に面した新宮の沿岸部には、海産物店が立ち並び、干物や明太子など多くの人気商品があります。

西鉄貝塚線



天神・博多から西鉄貝塚線を使えば、早く・簡単に新宮町まで来ることが可能。立花コース・相島コースのスタート地点は、西鉄新宮駅となります。

気軽に登って出会う。 頂上からの眺望は絶景！！

標高367メートル、40分ほどで登れる山で、老若男女問わず気軽に登山ができると人気です。樹齢300年を超える巨大なクスノキが神秘的な雰囲気放っており、山頂では素晴らしい展望が待っています。

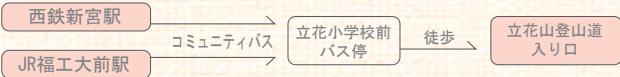


「立花山のクス」
幹周りが8メートルを超える樹齢300年以上のクスノキや、「夫婦杉」など、空を覆うような圧倒的な大きさの木々がそびえ立っています。



山頂に登ると、志賀島（しかのしま）や市街地を一望できる広大な景色が広がります。お弁当を持っていけば、忘れられないハイキングやピクニックになるでしょう。

●立花山への行き方



海と島を感じる 2025年10月 オープン 新宮・相島コース

九州の玄関口、福岡市内から気軽に出かけられる島歩きオルレコース。博多駅や天神駅から車で約40分「西鉄新宮駅」から新宮・相島コースが始まります。松林が美しい新宮の海岸沿いを歩き、白い砂浜を抜けると相島へ渡るフェリー乗り場に到着します。フェリーに約20分乗れば、相島に到着。ここから「島オルレ」のスタート。人口約200人の相島は、渡り鳥が羽を休める静かな小島ですが、1000年以上の歴史を持つ古墳群がオルレの道沿いに点在しています。さらに、朝鮮通信使（朝鮮後期に日本へ派遣された大規模な外交使節団）が旅の準備を整えた地でもあります。島内で最も深い森を通ると、まるで島であることを忘れて、古代の時代を歩いているような気分になります。森を抜け、再び美しい海が目の前に広がると、そこには有名な「メガネ岩（眼鏡岩）」が現れ、やがて終点「島の駅あいのしま」に到着します。

総距離：約8km 所要時間：約3時間半 難易度：初～中級
（出発地点～フェリー乗り場まで40分 + フェリー20分 + 相島オルレ 約2時間50分）

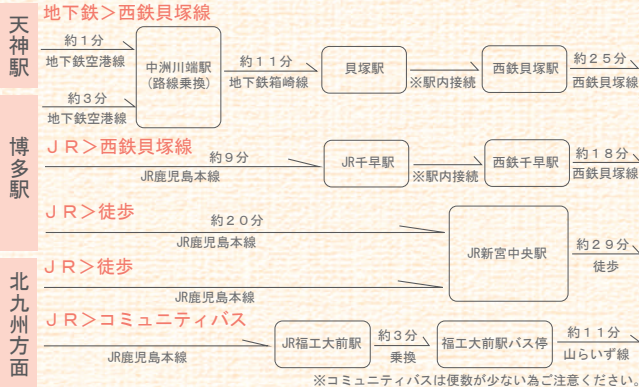


めがね岩展望所

島の東側、およそ300メートル沖合の海に、穴の開いたリング状の玄武岩がそびえ立っています。高さは約20メートル、周囲は約100メートルにもなる海食洞で「めがね岩」と呼ばれています。相島のランドマーク的存在であり、現在は指定文化財にもなっています。

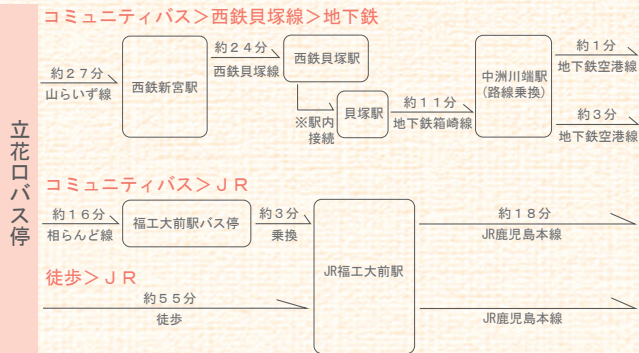


◆西鉄新宮駅への行き方



◆こみんかみかんからの帰り方

こみんかみかん→立花口バス停までは徒歩で約10分です。



◆タクシー

安川タクシー 092-681-1331 / 新宮タクシー 092-962-1531

新宮町観光案内所（一般社団法人新宮町おもてなし協会）
811-0112 福岡県糟屋郡新宮町下府 2-6-8 092-981-3470
<http://shingu-navi.jp>